

# 社会経済的背景と学力

私たち教師にできることは…

2019.03.01

No.55

校長 渡邊 幸二

昨年7月、前年度の全国学力学習状況調査を分析した結果を、お茶の水女子大学が発表しました。私たちの学習指導や生活指導上、非常に示唆に富んだ報告でしたが、みなさんをご覧になっていませんか。もし見ていない方は、ネットでも公表されていますので必ず見てください。

**文部科学省委託研究  
「平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した  
専門的な課題分析に関する調査研究」**

○本研究は、平成29年度全国学力・学習状況調査の追加調査として実施した「保護者に対する調査」の結果等を活用し、家庭状況と学力の関係、成果を上げている学校の取組等を分析するものである。(保護者調査は平成25年度にも実施。2度目)

\* 文部科学省の委託により国立大学法人お茶の水女子大学(代表: 浜野隆[教授])が分析

**国立大学法人お茶の水女子大学**

## SES (家庭の社会経済的背景)が高い児童生徒のほうが、各教科の平均正答率が高い傾向

先生方は、上のような分析結果を聞いてどう思われますか。単純な言い方をすれば、社会的にも経済的にも裕福な家庭の子どもの方が、学力が高いということです。

きっといろんな感じ方、考え方をされると思います。

教室の事実としてとてもそう感じるという方もいるでしょう。

現代社会の仕組みからすれば、当然の結果だろうという方もいるかもしれません。

憤りを覚えるという方もいるでしょう。

## 平均年収だけ見れば

SESはいろんな指標があり、年収だけを比べても一概に何とも言えないのですが、一応調べてみると右の表のようになっていました。(出典:「平均年収.JP」)

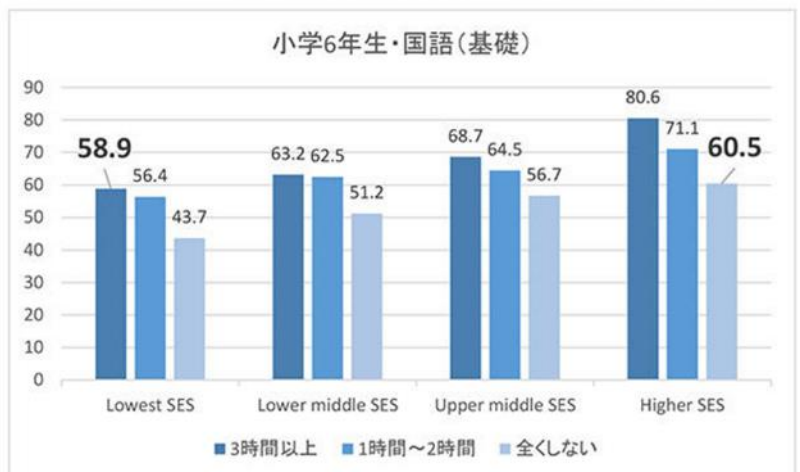
これだけ見ても、山形県の子どもたちは大きなハンデを背負っているという悲しい現実が見えてきます。その差は、山形県内で比べてみてもあることでしょう。

ちなみに、お茶の水女子大学の調査研究結果では右のようなグラフも示しています。

私はこのグラフを見て、大きなショックを受けました。ちょっと太字になって示されている数字に着目し、この数字の意味を想像してみてください。

順位	都道府県	年収(万円)
1	東京都	613
2	神奈川県	536
3	大阪府	523
平均		422
41	山形県	386

家庭の社会・経済的背景と学力の関係(お茶の水女子大学による調査)



## 「勉強時間」よりも「家庭的背景」のほうが大きい影響力を持つ

結論はこうなのですが、そしてあくまでも平均の話なのですが、Lowest SES の子どもたちが3時間以上勉強しても、Higher SES の「全くしない」子どもたちの成績を取れないということです。

みなさんは、「教師」としてどう感じますか？

ここで「なんだ…勉強を必死で教えても、裕福なところには勝てないのか！」と思った先生がいたとしたら、即刻「辞表」を書いてお辞めくださいと言いたいほどです。そんな先生から習った子どもたちがかわいそうです。

もうちょっと研究結果の詳しいところまで紹介しますと、右のような指標が高ければ高いほど、学力が高いという結果も分析されているようです。

- (1) 学校外教育費支出
- (2) 保護者の子どもに対する学歴期待
- (3) 世帯所得
- (4) 母親の学歴——の順に大きい

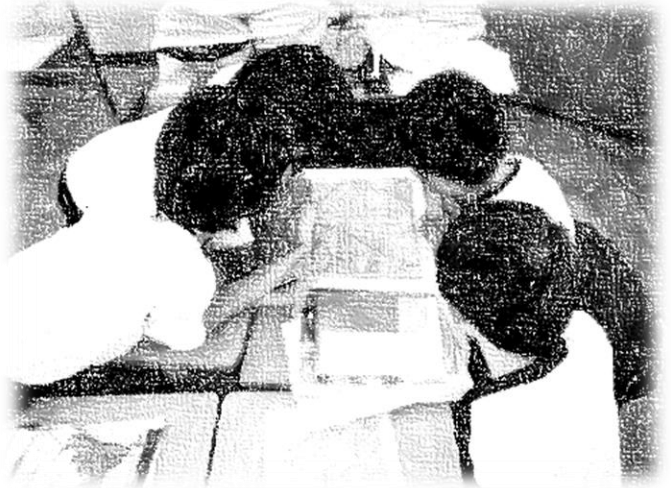
どうでしょうか。(1)～(4)のどれをとっても、私たち教師にはどうすることもできない指標ばかりです。学校の努力で家庭的背景を上げることはできません。また、(2)を除いては、これから親が努力すれば何とかなるというものでもないでしょう。経済的格差も地域間格差も、行政や国レベルで動かない限りは如何ともし難いと思います。しかし、だからと言って諦めたり放って置いたりする教師ではあまりにも情けない…

では、そんな不利益な状況下にある山形県の子どもたちが、全国の子どもたちと渡り合うためにはどうすればいいのでしょうか。

### 私たち教師にできることは…

社会経済的背景の低い地域にある学校にとっては相当厳しいデータなのですが、お茶の水女子大の研究により、もちろん「お金」ばかりが物言うわけではないこともわかってきました。

ご存知の通り、お隣の秋田県が毎年**全国1位の学力を維持している**ことから容易に想像できることです。



それは…

実はかなり当たり前のことと言えるかも知れません。

しかし、それが私たちの飽海地区の教育の営みの中で当たり前になっていないために、こんなに水をあけられているのではないかということです。田川地区の学力から比べても劣るのは、そんな「当たり前」ができていないからかもしれません。

詳しくは、来週の判定職員会議のときにちょっとだけお話をさせていただきます。